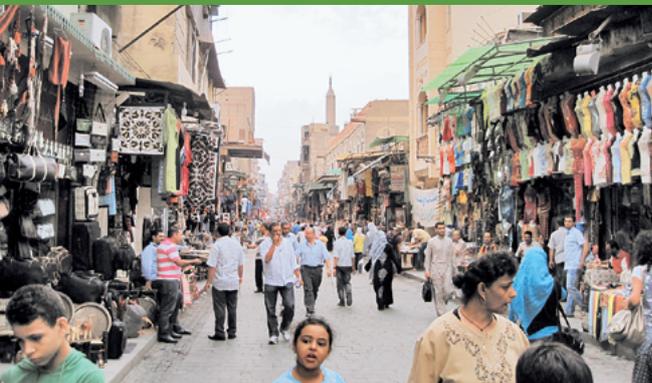


アラビア語専攻

アラビア語習得への強い意欲を持つと同時に、日本語も含めた世界の言葉に限りない関心を寄せ、言葉が織り成すあらゆる現象を理解するためにあくなき探求心を燃やし、異文化への逞かな道りを自分の足でたゆまず歩いていける人を希望します。



カイロ下町風景

イスラム教徒は1ヶ月の間、一切飲まず食わずで断食する。—まだ本当にそう思っている人がいるかも知れない。アラビア語はイスラムの聖典『コーラン』の言語で、アラビア半島から北アフリカまで広大なアラビア語使用地域を旅するのに、『コーラン』を知っていれば困らずに済むなんて、そんなことを大真面目に説く社会の教科書もありました。アラビア語が世界で一番むずかしい言葉の1つだとかまことしやかな、ありがたい褒め言葉(?)もいまだにあとを絶ちません。

「何語勉強してるの?」「アラビア語」「へー、珍しい言葉やってるんだネ」。統計では母語話者数でアラビア語がスペイン語に次いで5位だと聞いて、エッと驚き、フランス語は14位だと聞いて、エエッと2回驚くでしょう。大リーグじゃあるまいし、世界の言葉をつかまえてmajor/minor呼ばわりする気はさらさらありませんが、わざわざ悠久の人類史をひもとくまでもなく、この話者数の単純な数字を見ただけで、アラビア語を「珍しい」と見ることが、今どき(いや、ずーっと昔から)いかにズレた認識が分かるはずですよ。

さあ、重たい上着を脱がせましょう。1枚1枚神話と伝説のよろいを剥ぎとりましょう。「珍しい」とか「特殊」とか、そんなレッテルを貼りたがる人たちの手からアラビア語をとり戻しましょう。魔法の呪文と魔法の絨毯で幻想の世界へ遊ぶためだけがアラビア語ではない。書庫の簿暗がりランプの明かりを頼りに古文書を読み解くためだけがアラビア語ではありません。泣いて笑って怒ってしょげて、暑ければ暑いと言い、痛ければ痛いと言う「素顔」のアラビア語を学びましょう。単語を覚えてイディオムを増やし、動詞の活用に慣れ、構文の規則を理解し、努力すれば努力しただけ必ず報いてくれる「等身大」のアラビア語を「等身大」のまま、サンサンと降り注ぐ過剰なほどに明るい陽光のもとで。



カイロ大学正門



カイロ大学中庭

「アハラン・ワ・サハラン」 أَهْلًا وَسَهْلًا

学生の声 

4年 高田 将周

アッサラームアライクム! 皆さんこんにちは。大学で言語を勉強したいと思っている皆さんにアラビア語専攻のご紹介をしたいと思います。

アラビア語の魅力は何といっても独特な文字や文法、発音を持っているということです。アラビア語を検索すると得体の知れない文字が出てきますが、これが読めるようになるんです! 入学すると、1,2年生の間は文字から文法発音まで先生方が丁寧に、徹底的に教えてください。そして3年生からは詩や映画を通してさらに深い知識を付けていきます。

現地に留学して自分のアラビア語力を磨くこともできます。僕の学年はおおよそ半分弱の学生が留学に行きました。留学先はエジプト、チュニジア、ヨルダンなどのアラビア語圏とイギリスやカナダなどの英語圏です。英語圏に行く人は、現地でイスラム教の勉強や、英語力向上のために行きます。僕はエジプトに1年間留学しました。現地に行くと会話の機会が格段に増えますし、日本では味わえないような経験ができます。語学学校のイスラム教徒の先生が、授業の合間に教室の隅で突然礼拝を始めた時はかなり衝撃的でした。折角言語を勉強するので、外国語学部を目指す皆さんにはぜひ留学を視野に入れていただきたいです。

最後に、大学でアラビア語を勉強して話せるようになるのかということですが、自身の頑張り次第で十分話せるようになります。アラビア語を使った仕事をしている先輩方も沢山います。アラビア語学習者がまだまだ少ない日本で貴重な人材になれますよ! 皆さんのご入学を心よりお待ちしております!



留学体験記 

4年 尹 汝鎮

私は2015年3月から約1年間を、エジプトの首都カイロで過ごしました。「灰色の町」——それが私の、カイロに対して抱いた最初のイメージでした。灰色の建物、迷宮のような街づくり、そしてざわめく人々。最初は不安や心配で一杯で、なかなか行動が取れずに近所をうろつくばかりでしたが、その後勇気を出して一人で買い物に行った時、アラビア語のメニューさえも読めなかった私を助けてくれたのはエジプトの人々でした。助けを受け、たどたどしいアラビア語で「ありがとう」を言って、その言葉が相手に通じたと理解した瞬間、それまでほんの僅かだった私の生活領域はエジプト全域まで広がりました。

それからはあっという間に時間が過ぎました。生活の面では、友達と一緒にエジプトの各地方に旅行したり、砂漠で一夜を過ごしたり、現地人で賑わうカフェに行っておアラブコーヒーを楽しむなど、毎日が異文化と触れ合い、エジプトの方々の暖かい人柄に触れた幸福な日々でした。勉強の面では、言語そのものだけでなく、奥深いエジプト文化やアラビア書道など、教科書では得られない留學生を送ることができました。

新しい価値観、語学能力など、留学から得たものは様々ですが、私の場合は人との絆が一番の賜物でした。勤勉な日本の生活とは異なり、エジプトでの生活は非常にゆっくりとしています。そんな生活の中で、アラビア語を通じて、エジプトの方々と交流した経験は今も自分の中に残っています。

